

公益社団法人 地盤工学会

平成 22 年度 第 1 回

会 員 ・ 支 部 部 会

議 事 録

日 時：平成 22 年 11 月 10 日（水） 14：00～17：00		会 場：地盤工学会 3 階会議室			
理 事 会 員 ・ 支 部 部 長 岸 田 隆 夫 ○					
理 事 須 賀 幸 一 (会 員 ・ 支 部 担 当)	○	部 員 笹 倉 剛 (継 続 教 育 シ ス テ ム 委 員 会 委 員 長)	○	部 員 山 崎 剛 (産 官 学 連 携 支 援 委 員 会 委 員 長)	×
部 員 桑 野 玲 子 (男 女 共 同 参 画 ・ ダ イ バ ン テ イ (委) 委 員 長)	○	部 員 中 村 晋 (本 部 支 部 活 動 活 性 化 (委) 委 員 長)	○		
部 員 渦 岡 良 介 (会 員 デ ー タ ベ ー ス 管 理 シ ス テ ム 改 善 W G リ ー ダ ー)	○	部 員 遠 藤 一 郎	×	部 員 濱 康 之	○
部 員 原 田 克 之 (会 員 デ ー タ ベ ー ス 管 理 シ ス テ ム 改 善 W G サ ブ リ ー ダ ー)	○	オ ー ガ ー 末 岡 徹 (建 設 系 CPD 協 議 会 会 長)	○		
事 務 局：浅野，長尾，松本					

:出席 ×:欠席 :未定

◎本日の議事録作成担当者（原田 部員）

（1 山崎 → 2 濱 → 3 原田 → 4 渦岡 → 5 笹倉 → 濱 → 笹倉 → 6 遠藤）

冒頭，岸田部長より，岸田部長，須賀理事ならびに桑野部員，中村部員を議事録作成メンバーに加えること，また，あらためて 1 山崎部員よりローテーションを再スタートさせることが提案され，承認された。本日は，山崎部員欠席，濱部員到着遅れのため原田部員が担当することとした。

議 題：

〔議事録確認〕

1. 前回議事録の確認（H22/9/15）（担当：笹倉 部員） [別紙-1] pp. 1-3
 ⇨ 笹倉部員より説明がなされ，議事録は承認された。
 ⇨ また，会員データベース改善を担当する WG は，その名称を「会員データベース管理システム改善 WG」とすることが確認された。

〔審議事項〕

1. 公益社団法人認定に伴う平成 22 年度（H22/4/1-10/31）「特例民法法人としての事業報告」【まえぶん】案
 および「公益社団法人としての平成 22 年度（H22/11/1-23/3/31）事業計画」【まえぶん】案
 [別紙-2] pp. 4-12
 ⇨ 事務局より説明がなされた。
 ・両文中の「会員データシステム改善 WG」は「会員データベース管理システム改善 WG」と修正することとし，それ以外に意見がある場合は，11/12（金）までに部長ならびに事務局へ提出することとした。
2. 平成 23 年度事業方針・計画案ならびに予算案
 1) 平成 23 年度事業方針・事業計画案 [別紙-3] pp. 13-15
 → 11/12 総務部会審議 → **11/26 理事会・審議事項**
 ⇨ 事務局より説明がなされた。
 ・文中の「会員データシステム改善 WG」は「会員データベース管理システム改善 WG」と修正することとし，それ以外に意見がある場合は，部長ならびに事務局へ提出することとした。（特に期限はなし）
 2) 平成 23 年度会員・支部部関連予算案 [別紙-4] pp. 16-34
 ①支部交付金算定方法の変更について
 ・従来の（個人会員）×0.1 +（特別会員）×0.7 から

(個人会員) × 0.25 + (特別会員) × 0.55 に変更

・変更の趣旨・目的

→ (10/27 部会メール審議) 11/12 総務部会審議 **11/26 理事会・審議事項**

- ⇒ 中村部員より追加資料をもとに説明があった。主旨は以下の通り。
- ・基本方針としては、個人会員と特別会員の還付率は各支部とも一定とする。現案では、それぞれ25%、55%である。
 - ・前回改訂時に取り入れた基礎率や特別会員比率等の考え方は取りやめる。
 - ・算出金額に対して関東支部と関西支部には調整金額を与えるものとし、現案では関東支部-7,000 千円、関西支部+800 千円である。
 - ・前回改訂をホップとすれば、今回はステップであり、時勢を考慮しつつ将来的に確立（ジャンプ）を図る。
- ⇒ これに対し、部員より意見があった。主旨は以下の通り。
- ・関東支部への交付金金額そのものは前年度相当となるものの、調整額-7,000 千円は算出金額に対して小さいものではない。調整額の目安として、〇〇金額の△△%程度とするとか、何らかの設定基準を示すことが支部の理解を得る一助となるのではないか。
 - ・関西支部については算出額に金額を+調整するものであり、若干の不透明感は否めないところである。
 - ・本案による交付金総額は総収入に対して、従来よりもわずかであるが比率増となる可能性がある。学会活動を本部中心から支部へというトレンドに沿うものであるが、これまでの比率（35%程度）の妥当性も含めて議論が必要ではないか。
- ⇒ 検討の結果、以下の方針とすることとした。
- ・比率や調整の考え方については、中村委員会での検討成果として尊重する。
 - ・理事会や関東支部など、関係機関へ説明できる資料や表現が大切である。
 - ・事務局は、最新（9 月末段階）の会員数や低減率（-5%）を反映した計算を行い、従来手法による金額との比較ができる資料を作成することとする。
 - ・次回理事会（11/26）に上申し、ご意見・ご指摘を賜り、部として対応を検討してゆくものとする。
- (その後、関係部局と打合せの結果、11/26；正副会長会議で検討して、方針を確認の上、12/21；理事会で審議・決定の段取りとすることで合意した [岸田 追記]。)

3. 本部支部懇談会（11/26）議題（案）ならびに当日配布資料 [別紙-5] pp. 35-38

・議長：会長、（会議の）所管：会員・支部部、議事録作成：会員・支部担当理事

(11/12 総務部会にて確認) **11/26 理事会・審議事項**

- ⇒ 事務局より説明がなされた。審議の結果、下記を決定した。
- ・笹倉部員による「建設系 CPD 活動報告」を含める。
 - ・次第において、「3. その他」を「3. 支部に関連した本部の活動報告」に修正する。
 - ・同じく「3)その他」を「4. 本部と支部の意見交換」に修正する。
 - ・事務局は、WG 名称や肩書きを確認して、完成させること。
 - ・なお報告者は、資料がある場合は11/19 までに事務局へ送付すること。なお、パワポ資料程度であれば、当日配布でもよい。

4. ホームページの件

1) 委員会ホームページの内容充実（日下部会長からの依頼事項） [別紙-6] pp. 39-42

- ⇒ 岸田部長より説明がなされた。関連して下記の説明があった。特に審議事項はなし。
- ・日下部会長から各委員会に方針整理の要請がなされている。その中の「委員会規定+委員選出規定」については、各委員会設立時に規定する必要はなく、通常の統一的規定に加えて委員会固有の方針等があれば、それを記載すればよいものと解釈する。

2) 英文ホームページ改訂に関するコンテンツ作成 [別紙-7] pp. 43-47

- ⇒ 岸田部長より説明がなされ、進められていることが報告された。特に審議事項はなし。

5. 公益社団法人への移行に伴う「特別会員」の会員種別変更に関する〈希望調査〉について

[別紙-8] pp. 48-61

- ⇒ 事務局より説明がなされた。文面について審議の結果、以下を決定した。
- ・新定款における該当箇所を分かりやすくするため、「新定款第6条」と記載する。
 - ・文章末尾の「ことを念のため申し添えます」を削除する。
 - ・送付時には新定款全文を添付し、特に「第6条」を枠囲いする。
 - ・文面では正会員（法人）への移行申込みは H23/2/28 期限とされているが、期限以降の移行申込みの手順など、基本的なルールを総務部へ確認してから、理事会上申を行うものとする。
- ⇒ あわせて部員より意見が出された。主旨は以下の通り。
- ・正会員（法人）に移行しても特別会員としての権利は継続するものと解釈されるが、「表彰規定」など関連規定の一部には公益社団法人下で改訂されておらず、速やかに方針整理のうえ改訂を行うべきである。
 - ・公益社団法人である学会として「特別会員」という会員種別が必要とされるのか、について理事会等で審議していただく必要がある。

6. 所管委員会関連（審議・報告）

1) 継続教育システム委員会（H22/11/2 開催）

[別紙-9] pp. 62-64

（審議事項）

①委員交代：細野康代 委員（豊橋技術科学大学）→山岡みさ子 氏（基礎地盤コンサルタンツ関東支社）

・・・細野委員の海外留学のため

11/26 理事会・報告事項

- ⇒ 委員交代については、承認された。

②緑化工学会との連携方針について

- ⇒ 笹倉部員より緑化工学会の G-CPD 利用要請について説明があり、審議の結果、下記を決定した。
- ・現段階では相互認証をしていないが、覚書に従い緑化工学会会員の G-CPD システム利用を認める。
 - ・緑化工学会会員の受講記録を緑化工学会事務局で集計の上、地盤工学会事務局へ送付してもらい、事務局（長尾課員）が手入力する方法とする。
 - ・登録状況の閲覧や自己学習記録の入力には、仮の G-CPD 会員としてのアクセス権を与える
 - ・緑化工学会会員の CPD 記録を地盤工学会会長が認証することはしない。
 - ・実施に先立ち、実務運用手順等について両学会間で取り決める。
 - ・将来は、相互認証や建設系 CPD 協議会への参画を申し入れる。

（報告事項）

- ⇒ 笹倉部員より下記について報告がなされた。

①建設系 CPD 協議会シンポジウムの確定プログラム

②改訂 CPD 申請ルールを HP に公開

③神戸大会特別セッション採択

2) 産官学連携支援委員会

- ⇒ 特に報告事項はなし。

3) 男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会（H22/11/2 開催）

- ⇒ 桑野部員より委員会活動について報告があった。

・委員会として、①ダイバーシティ概念の広報、②女性会員への支援、③委員会サポーターの募集を今後実施してゆくことが報告された。それぞれの主な活動方針は下記の通り。

- ①：男女共同参画活動に加えて，シニアや若手，留学生などへの支援，学会誌報告や全国大会 DS を活用し広報推進，ニーズ把握のため座談会やヒアリング実施
- ②：女性会員間のネットワーク構築，研究委員会への登用促進依頼，女性会員 DB の整理
- ③：メールベースで意見集約，気軽な参加で裾野拡大

4) 本部支部活動活性化委員会

- ⇒ 中村部員より委員会方針について報告があった。
 - ・常設委員会として継続性を確保するため委員増強を図っていきたい。
 - ・岸田部長より，須賀理事へ委員会参加が要請され，須賀理事は受諾された。

5) 会員データベース管理システム改善 WG (H22/11/10 開催)

- ⇒ 渦岡部員より WG 方針について報告があった。
 - ・10/14 に WG を開催し，改善方針を WG で整理した。ソフト会社 4 社についてヒアリングを行い，システム構築計画と見積もり提出を依頼し，現在は回答待ちである。回答を検討し次年度予算を設定する。
 - ・本日 11/10 に WG を開催し，地盤工学会のプライバシーポリシーを確認した。セキュリティポリシーを会員データベース管理システム改善方針に連動させるよう，内容を早急に検討する。総務部と調整の上，12 月の理事会に上申できるように進める。

[報告事項]

1. 新規入会希望者等（平成 22 年 10 月）の報告【H22/10/20 部会 mail 審議承認済み】 [別紙-10] pp. 65-70
 10/22 運営連絡会議・承認 11/26 理事会・報告事項
2. 平成 22 年 10 月末現在の会員数報告 [別紙-11] pp. 71-74
 * 平成 22 年 11 月新規入会希望者等については，後日部会 mail 審議 11/26 理事会・審議事項
3. 理事会 (9/24)、運営連絡会議 (10/22) 開催報告 [別紙-12] pp. 75-87
4. 11 月 26 日 (金) 開催理事会への議題：審議事項および報告事項
 [審議事項] [報告事項]
 (* 議題書中に 審議事項、報告事項として記載)
4. 次回部会等開催日

理事会	:	平成 22 年 12 月 21 日 (火) 14:30~16:30
		平成 23 年 1 月 28 日 (金) 14:30~16:30
臨時総会	:	平成 23 年 1 月 14 日 (金) 15:00~16:00
会員・支部部会	:	<u>平成 23 年 1 月 19 日 (水) 14:00~17:00</u>

[その他]

前回議事録からの申し送り事項

1/19 の次回部会終了後に懇親会を企画。

平成 22 年度 会員・支部部会 開催日程 ([] 内は対応理事会開催日時)		
第 1 回	H22 年 5 月 11 日 (木) 14:00~	[5/14 (金), 運営連絡会議 6/25 (金)]
第 2 回	7 月 14 日 (水) 14:00~	[7/23 (金), (本部支部連絡協議会 8/18(水))]
第 3 回	9 月 15 日 (水) 14:00~	[9/24 (金), 運営連絡会議 10/22 (金)]
公益社団法人 第 1 回	11 月 10 日 (水) 14:00~	[11/26 (金), (本部支部懇談会)]
第 2 回	H23 年 1 月 19 日 (水) 14:00~	[1/28 (金), 運営連絡会議 2/25 (金)]
第 3 回	3 月 9 日 (水) 14:00~	[3/18 (金)]
平成 23 年度 会員・支部部会 開催日程		
第 1 回	H23 年 5 月 11 日 (水) 14:00~	[5/13 (金)]